

## 目黒会関西総支部総会報告

平成 26 年目黒会関西総支部総会は 5 月 31 日、大阪科学技術センターに 55 名の方々にお集まり頂き開催しました。福田喬学長、目黒会野々村欽造会長他、本部役員並びに各支部からも来賓としてお越し頂きました。

第一部ではパナソニック株式会社的美濃規央様(S55MS)に「夢の砂 乾いた地 潤す」と題する講演をしていただきました。美濃様は、半導体プロセスにおける歩留り向上のため、撥水性を有する単分子膜に関する研究を長年続けて来られました。今回のご講演では、その応用例として、地球上の水問題を改善する可能性を秘める、「撥水性を持つ砂」につき、ご解説頂きました。技術の斬新性もさることながら、チャレンジとリスクを楽しむようにと若い方へのメッセージも頂き、大変興味深いご講演でした。

第二部は総会で、小島宣治総支部長(S50B)より平成 25 年度事業報告、収支決算書および平成 26 年度事業計画についての説明があり、満場一致で全議案が承認されました。

第三部は野々村会長と福田学長より特別ご講演を頂きました。野々村会長からは、前安田会長が8年間に渡り取り組まれてきた、財政改善を含む目黒会の基盤確保について触れられた上で、これからの目黒会の方針として、クラス会やOB会への支援、電通大 100 周年に向けた活動などを通じて、会員の方々の満足度の向上に取り組んでいくとのご説明を頂きました。福田学長からは、電通大の機能強化という視点で現在の取組みをご説明頂きました。「研究力」と「教育力」の強化に向けて、グローバルリーダーの育成、海外大学との連携、社会人教育などに取り組んでいくとの事でした。また、電気通信大学(UEC)基金の主旨についてご説明いただき、OB や企業の協力を呼びかけられました。

第四部は懇親会で、小島総支部長の挨拶で始まり、例年通りご来賓を囲んでの歓談が進みました。従来は年代毎にテーブルを分けておりましたが、今年は世代を超えた交流をより深めて頂くために、自由にテーブルを選んで頂く形式を試みてみました。来賓や代表者の挨拶とともに、参加者の近況や学生時代の思い出、趣味の話など、会場中で歓談が弾む中、お時間となり井関宏介氏(S43S)の一本締めで散会となりました。

(H9IS 宮澤友和／記)

